ThreeBond

ALL JAPAN

SUPER FORMULA Championship 2026

SUPER FORMULA

RACE REPORT



Round.11-12

SUZUKA CIRCUIT

HRC Honda RACING / YOKOHAMA / URC / QMI beyond the invisible / KS Material Co. / INTERIOR GUARD / NAGASE / KAJIMA

SAMURAI JEANS / BLOCKHEAD MOTORS / 株式会社緑化計画 / ROUTE K×S / Epsom Salt ESSC Sea Crystals / SEV / NGK SPARK PLUGS / クローバーチケット

pum's / MAMMUT SWISS 1862 / KRS KTEL RACE SERVICE / METAL SURFACE TREATMENT WPC / EMC エンパイヤ自動車 / S5 StarFive Motor Racing Store

ENKEI / LEADMAX / ÖHLINS / D.B.P / Swift Springs / SOLAN DE CABRAS

いよいよ今季最終戦、鈴鹿大会



2026年度全日本スーパーフォーミュラ選手権のシリーズ最終大会となる第11戦及び第12戦（第25回JAFグランプリ）が、11月20日（金）～22日（日）にかけて、三重県の鈴鹿サーキットで開催された。今大会も金曜日にフリー走行、土曜日に第11戦公式予選及び決勝、日曜日に第12戦公式予選及び決勝と、1大会2レース制での大会である。

大会に向けて、ThreeBond Racingは今季積み重ねてきた経験の集大成となるセッティングをマシンに施し、レースウィークを迎えた。









金曜日 フリー走行



レースに先駆けて行われた20日(金)のフリー走行(FP)では快晴ながらも、強風が吹く中での走行となった。

走行中のマシンに空力的な影響が生じるほどの強風だったが、ドライバーの小出選手は快調に走り出し、午前のセッションをトップの車両から0秒767の出走24台中9番手で終え、午後のセッションもトップから0秒383遅れの出走24台中6番手で終えた。

Round.11 公式予選



21日(土)は前日に引き続き風が吹いたものの、やや弱まり、快晴のもと小出選手は午前9時50分からの公式予選Q1A組に出走した。前日のフリー走行で手応えを感じていた小出選手は、その勢いのままにQ1各組上位6台までが進出できる予選Q2進出を目指したが、トップから1秒354差の出走12台中9番手に終わり、Q2進出は叶わなかった。



小出選手は予選後のコメントで「前日と風向きを含め状況が変わり、マシンと走りを状況に上手く適用することが出来ませんでした。昨日はS字コーナーが向かい風、ストレートが追い風で、強風が吹いていましたが、今日は風速が少し弱まりました。そのような少しの変化で自分達のマシンにとって良いセッティングのゾーンから外れてしまいました。前日のフリー走行で調子が良かっただけに悔しいです。コースの状況が僅かに変わるだけで車両のパフォーマンスが大きく変化する点は、今後の課題で改善しなければなりません。」と振り返った。

公式予選の結果、小出選手の決勝スターティンググリッドは、出走24台中18番手からと決定した。



Pos	No	氏名/予選Q2タイム
1	1	岩佐 歩夢 / 1’36.787
2	16	野尻 智紀 / 1’37.125
3	6	太田 格之進 / 1’37.155
18	12	小出 峻 / 1’39.041 ※Q1タイム

ThreeBond

Round.11 決勝









午後2時25分、31周の第11戦決勝レースがスタートした。

予選ではコースコンディションの変化に追従できなかったが、決勝でのロングランについては予選とは違う方向のセッティングにする必要があり、チームは前日のフリー走行で決勝を想定したセッティングには手応えを感じていた。

18番手からスタートした小出選手は、出足よくピットロード側から加速し、鈴木選手・サッシャ選手・ブルツ選手のマシンを追い抜いて15番手で第1コーナーへ飛び込むと、その順位を守ってオープニングラップを終えた。しかし、1周目からオーバーテイクシステム(OTS)を使用していた小出選手は2周目にOTSが使用出来ない時間となり、2周目の第1コーナーではOTSを使用したサッシャ選手に抜き返され、スプーンコーナーの入り口では坪井選手に、130R手前では鈴木選手のオーバーテイクを許しポジションを18番手へと戻すこととなった。

3周目には前を走る佐藤選手がマシントラブルでピットインしたため、ポジションは17番手に繰り上がった。

今大会は8周目以降でタイヤ交換義務の消化が許され、8周目からピットインする車両が生じる中、小出選手は走り続ける戦略を選んだ。ところが10周目に鈴木選手がコース上で停止し、車両撤去のためにセーフティーカー(SC)が介入。小出選手を含めたほとんどの車両が戦略を急遽変更して一斉にピットインした。

素早いタイヤ交換作業にも助けられ、一気に11番手へ順位を上げてコースに復帰した小出選手は、レース再スタートとなった14周目のスプーンコーナー立ち上がりでOTSを使い、前を行く山下選手をオーバーテイク。選手権ポイント獲得圏内の10番手へ進出した。15周目にはタイヤ交換を行っていなかった笹原選手がピットインし、小出選手の順位は9番手へ。その後、小出選手は決勝で200秒の間使用出来るOTSの使用可能時間を半分以上残して周回を重ね、残り2周となった29周目、ヘアピンコーナーの立ち上がりから残量を一気に使用した。前を走るサッシャ選手に一気に攻め寄ると、30周目の第1コーナーまでにアウト側からオーバーテイク、8番手に順位を上げ、その順位のままチェッカーフラッグを受けた。

上位車両のペナルティもあり、最終的には7位へと繰り上がり選手権ポイント4点を獲得してレースを終えた。

HRC Honda RACING | YOKOHAMA | URC | QMI beyond the invisible | KS Material Co. | INTERIOR GUARD | NAGASE | KAJIMA
SAMURAI JEANS | BLOCKHEAD MOTORS | 株式会社緑化計画 | ROUTE K×S | Epsom Salt ESSC Sea Crystals | SEV | NGK SPARK PLUGS | クローバーチケット
pum's | MAMMUT SWISS1862 | KRS KTEL RACE SERVICE | WPC | エンパイヤ自動車 | S5 StarFlue Motor Racing Store
ENKEI | LEADMAX | ÖHLINS | D.B.P | Swift springs | F | SOLAN DE CABRAS

Round.12 公式予選



22日(日)、鈴鹿サーキットは引き続き快晴となった。前日と同じく風が吹く状況の中、午前9時15分から第12戦の公式予選Q1が始まり、小出選手は予選Q1A組に出走した。

チームは第11戦公式予選の結果を踏まえ、セッティングを調整して小出選手を送り出したが結果は伸びず、トップから0秒705遅れで出走12台中8番手に終わり、Q2進出は叶わなかった。

大駅エンジニアは「コースの状況に合わせて、(セッティングに)手を加えたのですが、状況に上手く噛み合いませんでした。」と予選後にコメントしている。この結果、小出選手の予選総合結果は16位、決勝スターティンググリッドは15番手からに決定した。



Pos	No	氏名/予選 Q2 タイム
1	16	野尻 智紀 / 1'36.501
2	14	福住 仁嶺 / 1'36.642
3	1	岩佐 歩夢 / 1'36.823
16	12	小出 峻 / 1'38.016 ※Q1タイム







Round.12 決勝



午後1時50分、31周の第12戦決勝レースがスタートした。

スタートの出足は良く、グランドスタンド側から追い抜きをしかけるも、前を走る大湯選手のマシンが芝生に乗り上げ、詰まる形となり、16番手にポジションを下げた。

8周目、ルール上タイヤ交換のためのピットインが可能となり、他チームがピットインを始めるも、小出選手はタイヤ交換を遅らせる戦略を取り、その結果小出選手の見た目上の順位は10周目に10番手、11周目に9番手、12周目に8番手、13周目に6番手へと繰り上がった。



小出選手は同様の戦略を取った佐藤選手を追いかけて走行を続け、順位を上げていった。ところが見かけ上の順位が5番手に繰り上った所で、小出選手は突如としてマシンのグリップが大幅に低下したことを感じ、ピットと無線で交信した上で、19周目を走り終えた段階で緊急ピットインした。



即座に不調の原因を究明することが出来なかったため、チームは新品タイヤへの交換を行って、小出選手を一旦コースへと送り返した。ところがここで左リヤホイールの固定が不完全で、マシンコントロールが効かない状況が発生し、小出選手はスローダウンして何とか1周走って再度ピットインした。チームは左リヤタイヤをレースの前半で使用したものに戻して小出選手をコースに送り返したが、当初訴えていたグリップ低下の状況は変わらず、2周を走った上でこれ以上走行を続けるのは不可能と判断。チームは小出選手をピットに呼び戻してリタイアを決めた。

悔しさの残る最終大会となったが、ThreeBond Racingは今季4戦で選手権ポイントを獲得。参戦以来の最高位となる5位入賞も果たし、年間ではチームランキング11位、ドライバーランキングは15位で2026年のシーズンを終えた。





ドライバー：小出峻　コメント



第11戦のスタートの加速はかなり良かったのですが、3台を追い抜いた後、思ったようにペースが上がらず、スタートで抜いた分の順位をすぐに落としてしまいました。タイヤ交換後は、非常に良いフィーリングで走行出来、予選を上位で終えられていれば、更に上位に食い込めたと考えると残念です。
第12戦はまずまずのスタートで、状況が落ちついてから前を走る佐藤選手を追いかけました。佐藤選手の方が少し良いペースに感じましたが、こちらも悪いペースではなかったのでそのままタイヤ交換を遅らせて、(タイヤ交換後の)後半でしっかり追い上げようと思っており、 そのためにOTSの使用可能時間も残していました。結果はリタイアとなってしまいましたが、決勝レースのペースは、土日とも悪くありませんでした。
上昇気流に乗っていたと感じていた中で、不完全燃焼のままシーズンが終わってしまい、とても悔しいです。
一年間、良いことも悪いことも、様々なことをThreeBond Racingで経験させてもらいました。チームの皆さん、ファンの皆様、何より僕にチャンスを与えて下さったスリーボンドの皆様には心から感謝の気持ちを伝えたいです。来シーズンもチャンスがあれば今シーズンの悔しさを晴らしたいと思います。今シーズンもご支援とご声援、誠にありがとうございました。

監督：塚越広大　コメント



今シーズンの集大成として、金曜日のマシンの仕上がりはまずまずの良い手応えでした。ただ、強い風への対応という点でドライバーもチームも少し振り回されてしまった部分がありました。第11戦決勝ではSC介入のタイミングを上手く捕まえることができ、順位を大きく上げることに成功し、ポイントを獲得出来ました。
第12戦に関しては、コースのコンディションに上手くセッティングを合わせ込むことができず、非常に悔しいレースになってしまいました。シーズンを良い形で終えることができず残念です。今シーズンはマシンのポテンシャルを昨年の状況から確実に上げることができ、ポイントも昨年より獲得することができました。しかしながら、チャンスを逃すようなレースも多く、細かな部分をまだ詰め切れていないのも事実です。今年の良かった部分、悪かった部分をしっかりと分析し、準備を整えた上で来季を迎えたいと思います。

トラックエンジニア：大駅俊臣　コメント



決勝レースではトップと同じスピードで走る力はあると考えており、課題は予選です。
土曜日は予選で失敗した結果、決勝でペースの遅い集団の中で走らざるを得なくなってしまいました。タイヤの消耗も少なく、上手く走れていたと感じるだけに残念です。
日曜日は今年の最終戦ということもあり、しっかりとポイントを獲って終わりたかったのですが、叶いませんでした。
今年は少しずつ状況が良くなったものの、思うような結果にはたどり着きませんでした。しかしあとはコースのコンディションに合わせ込めば良いという、上位への入り口にはたどり着いたように思います。今もコースや状況によってはセッティングがピッタリと合う時があります。それを意図的に合致する状態に持って行けるかどうかが問われていると思います。



Round.11 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	1	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN AUTOBACS	56’ 58.134
2	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	56’ 59.455
3	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN AUTOBACS	57’ 00.043
4	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	57’ 04.020
5	7	小林 可夢偉	KDDI TGMGP TGR-DC	57’ 04.971
6	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO·INGING	57’ 10.574
7	12	小出 峻	ThreeBond Racing	57’ 10.873
8	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM’S	57’ 12.401
9	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	57’ 13.666
10	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO·INGING	57’ 14.245
11	8	山下 健太	KCMG	57’ 19.768
12	53	チャーリー・ブルツ	TEAM GOH	57’ 20.414
13	36	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM’S	57’ 21.835
14	3	ルーク・ブラウニング	REALIZE KONDO RACING	57’ 22.451
15	97	ロマン・スタネック	ナビクル Buzz MK RACING	57’ 26.334
16	28	小林 利徠斗	KDDI TGMGP TGR-DC	57’ 30.838
17	14	福住 仁嶺	NTT docomo Business ROOKIE	57’ 32.277
18	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	57’ 32.982
19	9	ジュリアーノ・アレジ	KCMG	57’ 33.305
20	4	笹原 右京	REALIZE KONDO RACING	58’ 12.550
-	22	松下 信治	DELiGHTWORKS RACING	DNF
-	50	野村 勇斗	San-Ei Gen with B-Max	DNF
-	19	鈴木 斗輝哉	TEAM IMPUL	DNF
-	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	DNF

HRC Honda RACING
YOKOHAMA
URC
QMI beyond the invisible
KS Material
INTERIOR GUARD
NAGASE
KAJIMA
SAMURAI JEANS
BLOCKHEAD MOTORS
株式会社緑化計画
ROUTE K×S
Epsom Salt ESSC Sea Crystals
SEV
NGK SPARK PLUGS
クローバーチケット
pum's
MAMMUT SWISS 1862
KRS KTEL RACE SERVICE
METAL SURFACE TREATMENT WPC
エンパイヤ自動車
StarPlue Motor Racing Store
ENKEI
LEADMAX
ÖHLINS
D.B.P
Swift Springs
SOLAN DE CABRAS



Round.12 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN AUTOBACS	52’38.935
2	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	52’41.462
3	1	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN AUTOBACS	52’59.536
4	14	福住 仁嶺	NTT docomo Business ROOKIE	53’01.223
5	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	53’02.146
6	7	小林 可夢偉	KDDI TGMGP TGR-DC	53’03.364
7	3	ルーク・ブラウニング	REALIZE KONDO RACING	53’05.539
8	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO·INGING	53’17.311
9	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO·INGING	53’17.621
10	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	53’17.873
11	8	山下 健太	KCMG	53’20.936
12	50	野村 勇斗	San-Ei Gen with B-Max	53’25.600
13	53	チャーリー・ブルツ	TEAM GOH	53’26.121
14	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	53’26.212
15	97	ロマン・スタネック	ナビクル Buzz MK RACING	53’35.689
16	9	ジュリアーノ・アレジ	KCMG	53’37.964
17	28	小林 利徠斗	KDDI TGMGP TGR-DC	53’49.976
18	4	笹原 右京	REALIZE KONDO RACING	54’01.099
19	36	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM’S	1Lap 遅れ
20	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM’S	1Lap 遅れ
21	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	4Laps 遅れ
-	22	松下 信治	DELiGHTWORKS RACING	DNF
-	12	小出 峻	ThreeBond Racing	DNF
-	19	鈴木 斗輝哉	TEAM IMPUL	DNF

HRC Honda RACING
YOKOHAMA
URC
QMI beyond the invisible
KS Material
INTERIOR GUARD
NAGASE
KAJIMA
SAMURAI JEANS
BLOCKHEAD MOTORS
株式会社緑化計画
ROUTE K×S
ESC Sea Crystals
SEV
NGK SPARK PLUGS
クローバーチケット
pum's
MAMMUT
KRS KTEL RACE SERVICE
WPC
エンパイヤ自動車
StarPlue
ENKEI
LEADMAX
ÖHLINS
D.B.P
Swift Springs
SOLAN DE CABRAS



Drivers & Team Ranking

順位	ドライバー	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12
			もてぎ	もてぎ	AP&富士	鈴鹿	鈴鹿	富士	富士	SUGO	富士	富士	鈴鹿	鈴鹿
1	太田 格之進	153	2+10	3+20	2+2	4	11	20	1+20	2+8	2+15	0	1+15	15
2	岩佐 歩夢	124.5	3+7.5	1+3	3+0	3+0	2+15	1	6	15	8	2+20	3+20	1+11
3	イゴール・オオムラ・フラガ	79	4	0	12	0	3	5	15	1+11	3+20	3+0	2	0
4	福住 仁嶺	73	0	11	0	1	3+20	0	3	20	5	0	0	2+8
5	野尻 智紀	70.5	1.5	0	1+9	2+0	0	0	3+5	3+6	0	4	2+11	3+20
6	牧野 任祐	60	0	0	6	0	1+5	11	2+11	5	0	5	8	6
7	ザック・オサリバン	54	0	5	0	2	0	3+15	0	2	11	1+15	-	-
8	大湯 都史樹	50	0	2+6	4	5	0	2+8	4	0	4	8	5	2
9	サッシャ・フェネストラズ	43.5	2.5	0	5	20	4	0	0	3	0	6	3	0
10	坪井 翔	43	1	0	7	11	6	0	8	4	6	0	0	0
11	阪口 晴南	31	0	15	0	0	8	4	0	0	-	-	1	3
12	松下 信治	27	0	1	0	15	0	0	0	0	0	11	0	0
13	ルーク・ブラウニング	24	0	8	0	8	0	1+3	0	0	0	0	0	4
14	小林 可夢偉	16	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	6	5
15	小出 峻	15	3	2	0	0	0	6	0	0	0	0	4	0
16	佐藤 蓮	12.5	1+5.5	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1
17	チャーリー・ブルツ	9	0	0	0	6	0	0	0	0	0	3	0	0
18	小林 利徠斗	6	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0
19	野村 勇斗	6	2	0	0	1+0	0	2	0	0	1+0	0	0	0
20	山下 健太	5	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
21	ロマン・スタネック	4.5	0.5	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0
22	ジュリアーノ・アレジ	2	-	-	-	-	-	0	0	0	0	2	0	0
-	笹原 右京	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	野中 誠太	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
-	ジュジュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	鈴木 斗輝哉	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
-	卜部 和久	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-



HRC Honda RACING
YOKOHAMA
URC
QMI beyond the invisible
KS Material Co.
INTERIOR GUARD
NAGASE
KAJIMA
SAMURAI JEANS
BLOCKHEAD MOTORS
株式会社緑化計画
ROUTE K×S
Epsom Salt ESSC Sea Crystals
SEV
NGK SPARK PLUGS
クローバーチケット
pum's
MAMMUT SWISS 1862
KRS KTEL RACE SERVICE
WPC
エンパイヤ自動車
StarFlue Motor Racing Store
ENKEI
LEADMAX
ÖHLINS
D.B.P
Swift Springs
SOLAN DE CABRAS

Team Ranking

順位	チーム	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12
			もてぎ	もてぎ	AP&富士	鈴鹿	鈴鹿	富士	富士	SUGO	富士	富士	鈴鹿	鈴鹿
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	197	0+10	0+20	6+2	0+4	5+11	11+20	11+20	5+8	0+15	5+0	8+15	6+15
2	TEAM MUGEN AUTOBACS	163	7.5+1.5	3+0	0+9	0+0	15+0	1+0	6+5	15+6	8+0	20+4	20+11	11+20
3	VANTELIN TEAM TOM'S	86.5	1+2.5	0+0	7+5	11+20	6+4	0+0	8+0	4+3	6+0	0+6	0+3	0+0
4	PONOS NAKAJIMA RACING	83.5	5.5+4	0+0	1+12	0+0	2+3	0+5	0+15	1+11	1+20	0+0	0+2	1+0
5	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO·INGING	77	0+0	15+6	0+4	0+5	8+0	4+8	0+4	0+0	0+4	0+8	1+5	3+2
6	NTT docomo Business ROOKIE	68	0	11	0	1	20	0	3	20	5	0	0	8
7	TEAM IMPUL	50	0	5	0	2	0	15	0	2	11	15	0	0
8	DELiGHTWORKS RACING	27	0	1	0	15	0	0	0	0	0	11	0	0
9	REALIZE KONDO RACING	23	0+0	8+0	0+0	8+0	0+0	3+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	4+0
10	KDDI TGMGP TGR-DC	22	0+0	0+0	0+3	0+0	1+0	0+0	2+0	0+0	2+3	0+0	6+0	5+0
11	ThreeBond Racing	15	3	2	0	0	0	6	0	0	0	0	4	0
12	TEAM GOH	9	0	0	0	6	0	0	0	0	0	3	0	0
13	KCMG	7	0+0	4+0	0+0	0+0	0+0	0+0	1+0	0+0	0+0	0+2	0+0	0+0
14	ナビクル Buzz MK RACING	4.5	0.5	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0
15	San-Ei Gen with B-Max	4	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
-	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

